

株式会社グッドシステムズ 2017年度環境活動レポート

(対象期間: 2017年3月1日 ~ 2018年2月28日)



作成日: 2018年2月28日

□ごあいさつ

当社は、H21年6月から大阪シティホテル京橋の経営のスタートを致しました。
H23年6月はホテルプラザイン徳島とホテルグランドワン南大阪の経営を同月スタート。
H24年5月には北九州第一ホテルの経営をスタートし、4店舗チェーン展開となる中でE/A21の取得を試み始めました。
ホテルという業態は、水道・電気・ガス・重油といったライフラインの大口需要者となる事から「企業の社会的責任」である省エネ・省資源・エコ活動への取組が必須となりますが、その事でお客さまへのサービス低下を起さかねない事案もございますのでお客さまのご理解ご協力を賜りながら進めて参りたいと考えています。
また、全店全スタッフとの指標や水光熱費等のコストダウンとその方法や意識についてのさらなる芽生えも期待。
H25年から着手した再生可能自然エネルギーによる太陽光発電システムでの創エネは、全国に6事業所を数えまして合計371.68KWの設備を保持する事で約186tものCO2削減効果に貢献できて、約13,270本のスギの木のCO2吸収量に相当します。
日本の農業を守り持続可能な未来の為に取組ませて頂いている水田も6年目を迎え作付面積を31.1アール(3,110kgのCO2削減効果)を維持。

8年目のエコアクション21認証継続するうえで、世界から最も注目を集める古都京都にて新築開業ホテル2棟が竣工オープンしました。これまでのエコに関する設計ノウハウを注力したシャワーブースのみの客室で湯船が必要な方には、小浴場を2か所配置。世界中からのお客さまを近隣の銭湯への積極のご案内で、日本の文化に触れて頂くご提案とウオームシェアを同時に推奨して参ります。また、デマンド監視システムの設置や全室スクリーンカーテン、省エネカードホルダー、屋内階段照明の人感センサーの採用で消費電力の削減を目指しています。
新築の建物でのホテル経営は初めての経験ではありますが、これまで通り建物や設備の省エネ性能に甘んじる事なく今一度、全スタッフの「エコ」に関する知識意識を高めて、ソフトの力を発揮して環境経営にも取り組んで参ります。

株式会社グランドシステムズ
代表取締役 中村 登喜夫

環境方針

社名に込めた思い、グランド・・・喜ぶ・慶ぶ・飲む・悦ぶ・喜んで・嬉しい(ホスピタリティに通ずる)、システムズ・・・組織・機関(構築された仕組み・方法)
その思いは、「顧客・そこに働く私達・そして私達に関わる社会すべてにおいて喜び・喜ばせる仕組みを構築していく集合体(組織)でありそれを追及していく」と言う理念に結びついております。
その我々の基本理念に沿い、主とするビジネスホテル業を通じて、省エネルギー・節水・廃棄物の削減等、環境問題に取り組むことで社会に喜びを与えるより強い組織作りを目指し、環境への取り組みを積極的に推進して参ります。

1. 環境に関する法律・条例等遵守致します。
2. 二酸化炭素排出量の削減の削減に向け、省エネルギー活動に努めて参ります。
3. 一般廃棄物及び食品廃棄物の削減に努めて参ります。
4. 照明器具のLEDへの更新を努めて参ります。
5. 節水に取り組み、排水量を削減に努めて参ります。
6. グリーン購入やグリーン調達を推進して参ります。
7. お客さまへエコアクション21参加を告知し、エコ活動の協力を推進して参ります。
8. 日本社会に貢献することを目的とし、環境保全活動を推進して参ります。
9. 環境方針を、全従業員に周知させ、環境に関する意識向上に努めて参ります。

制定日：2012年11月1日

更新日：2015年4月1日

代表取締役 中村 登喜夫

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
 (株)グッドシステムズ
 代表取締役 中村 登喜夫
- (2) 所在地
 本 社 大阪シティホテル京橋 大阪府大阪市都島区片町2-11-24(登記上)
 TEL:06-6353-1111 FAX:06-6352-1510
 http://www.ochk.co.jp
 2009年6月より運営
 経営管理部 大阪府大阪市都島区片町2-6-3-3F
 TEL:06-6881-7702 FAX:06-6881-7703
 2011年3月より運営
 ホテルグッドワン南大阪 大阪府大阪市住之江区新北島5-1-50
 TEL:06-4702-7830 FAX:06-4702-7833
 http://www.gladonehotels-minamiosaka.jp
 2011年6月より運営
 北九州第一ホテル 福岡県北九州市小倉北区紺屋町11-20
 TEL:093-551-7331 FAX:093-551-7333
 http://www.gladonehotels-kitakyusyu.jp
 2012年5月より運営
 ホテルグッドワン京都七条 京都府京都市下京区正面通木屋町東入北側鍵屋町337
 TEL:075-354-7200 FAX:075-354-7201
 http://gladonehotels-kyotoshichijo.jp/
 ホテルグッドワン京都四条大宮 2017年10月より運営
 京都府京都市下京区大宮通綾小路下る綾大宮町66
 TEL:075-813-1001 FAX:075-813-1002
 http://gladonehotels-shijoomiya.jp/
 2018年2月より運営
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 責任者 経営管理部 猪熊由香 TEL:06-6881-7702
 担当者 経営管理部 猪熊由香 TEL:06-6881-7702
- (4) 事業内容
 宿泊サービス業
 主要製品:ビジネスホテル運営
- (5) 事業の規模
 売上高 5.9 億円(2017年)

	経営管理部	京橋支店	南大阪支店	北九州支店	七条支店	四条大宮支店	合計
従業員	5	10	8	11	7	7	48
延べ床面積	73.6	1822.35	1293	2100.91	1504.16	1379.53	8176.25

- (6) 事業年度 3月～2月

□認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名: 株式会社グッドシステムズ
 対象事業所: 経営管理部
 大阪シティホテル京橋
 ホテルグッドワン南大阪
 北九州第一ホテル

活動: 宿泊サービス業

□拡大計画

ホテルグッドワン京都七条(2017年10月OPENの為、次年度対象事業所へ拡大予定)
 ホテルグッドワン京都四条大宮(2018年2月OPENの為、次年度対象事業所へ拡大予定)

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2015年	2016年	2017年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	757,925	515,451	492,820
廃棄物排出量	トン	33,399	31,166	35,697
総排水量	m ³	30,067	24,763	24,693

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.369 kg-CO₂/kWh

□環境目標及びその実績

年度 項目	年	基準値	2017年		2018年	2019年
		(基準年)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	395,766	391,808	370,702	375,977	375,977
	基準年比	2016年	99%	94%	95%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	4,335	4,291	3,838	4,291	4,291
	基準年比	2016年	99%	89%	99%	99%
重油・ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO ₃	115,350	114,197	118,280	114,197	114,197
	基準年比	2016年	99%	103%	99%	99%
上記 二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	515,451	510,296	492,820	494,466	494,466
一般廃棄物の削減	kg	31,166	30,854	35,697	30,854	30,854
	基準年比	2016年	99%	115%	99%	99%
水道水の削減	m ³	24,763	24,515	24,693	24,515	24,515
	基準年比	2016年	99%	100%	99%	99%
事務用品のグリーン購入の推進		42%		273	目標設定	目標設定
		2017年	42%	72%	60%	60%
エコブラン		2,172		2580件	目標設定	目標設定
		2016年	110%	119%	2,389	2,389

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	次年度	評価(結果と次年度の取組内容)
電力による二酸化炭素削減			
数値目標	◎	□上方修正 □下方修正 □基準見直し ■変更なし	
・不要照明の消灯	◎	継続	電気使用量の削減目標を達成することが出来ました。
・使用の少ない時間帯の電化製品の電源OFF	◎	継続	北九州の店舗以外は電気使用量を昨年より減少させることが出来ました。特に京橋店舗は新しいエアコンへ入替たことにより、電気使用量を抑制できたことも要因の一つである。京橋店舗は(社)低酸素エネルギー技術事業組合によるCO2ポテンシャル診断(二酸化炭素抑制対策事業費補助金)を利用し積極的に二酸化炭素抑制におけるエアコン機器の更新を行いました。今後もこうした事業を活用しながら取り組みを進めて参ります。
・チェックアウト後の客室エアコン電源OFF	○	継続	
・LED照明の順次更新	◎	継続	
【目標未達成時の挽回策】			
自動車燃料による二酸化炭素削減			
数値目標	◎	■上方修正 □下方修正 □基準見直し □変更なし	
効率的に営業まわりをする	◎	継続	自動車燃料による二酸化炭素排出量の目標値を達成出来ました。新しく京都に2店舗OPENに向けて自動車での移動が増加したにもかかわらず、営業などの面では公共の交通機関を上手く利用しながらガソリン使用量を抑制することが出来ました。今後も必要の際は上手く車を活用しながら、二酸化炭素抑制するよう心掛けていきます。ガソリン車からハイブリッド車に1台買い替えました。
【確認・評価】			
重油・ガスによる二酸化炭素削減			
数値目標	×	□上方修正 ■下方修正 □基準見直し □変更なし	
・チェックアウト後の客室エアコン電源OFF	△	継続	ガスの使用量が昨年より増加し、目標達成には至りませんでした。宿泊人数・室数共に増加も要因に上げられます。宿泊者一室当たりのガス使用量で見ますと、京橋店舗は昨年同様・南大阪店舗は昨年より減少・北九州店舗は昨年より増加という結果となりました。北九州の店舗では本年冬の気温が下がりガスの使用量を増加させた要因の一つと言えます。今後も引き続き環境活動に力を入れて抑制に努めて参ります。
・節水用シャワーヘッドの導入	◎	継続	
一般廃棄物の削減			
数値目標	×	□上方修正 ■下方修正 □基準見直し □変更なし	
・印刷物の裏紙をメモ帳として利用	◎	継続	一般廃棄物の量が増加し、目標達成には至りませんでした。宿泊人数・室数共に増加する店舗もありましたが、今期は南大阪・北九州共にエレベーター・ボイラー修繕の為に売止め期間もある為減少させるべきでしたが増加する結果となりました。今後もご宿泊のお客様へはお願いペースになりますが、ゴミを抑制していけるようお伝えして参ります。
・帳票見直しによる印刷物の削減	△	継続	
・書類は主にメールで送る	◎	継続	
・トイレトペーパーの使い切りをお客様へご案内する	◎	継続	
水道水の削減			
数値目標	△	□上方修正 □下方修正 ■基準見直し □変更なし	
・清掃時の水の使い過ぎに気を付ける	△	継続	水道使用量は昨年より減少したものの、目標達成には至りませんでした。昨年より減少できた事は大変喜ばしい事ではあるが、宿泊人数・室数共に増加傾向にはあるがしっかりと目標値を達成出来るよう環境活動に取り組んで参ります。四条大宮店舗ではトイレロータック節水弁を導入予定。
・手洗い時・洗い物時は節水を意識する	◎	継続	
グリーン購入の推進			
数値目標	◎	■上方修正 □下方修正 □基準見直し	
・事務用品グリーン購入比率向上	◎	継続	グリーン購入の比率が向上する良い結果となりました。今後も積極的にグリーン購入に努めて参ります。
エコプラン			
・エコプラン実施 清掃不要プラン(アメニティのみ準備)	◎	継続	エコプランは目標値を達成することが出来ました。特に京橋店舗・北九州店舗ではエコプランが増加し、宿泊のお客様の協力のもと達成できたと存じます。南大阪の店舗に関しましては、エコプラン以外に連泊のお客様へのお声がけによる清掃不要の方にお水をお渡しする活動を続けており、数にはエコプラン数としては上がっていませんが、そういった努力が日々の清掃数削減につながり結果水道使用量や電気使用量等に繋がると存じます。
・エコプランとは別に連泊のお客様で清掃不要に賛同するお客様へお水をお水をプレゼントするキャンペーンを行った。(南大阪・北九州)	◎	継続	
社会貢献			
・お米の栽培(水田オーナーズクラブ契約)	◎	継続	CO2削減 3,110kg
・周辺のゴミ拾い	○	継続	周辺のゴミ拾いを積極的に行っている。
・京橋子ども食堂	◎	継続	80KWと46.4KWの太陽光発電システムを6施設で稼働約186t相当のCO2削減、杉13,270本分のCO2吸収量。
・太陽光発電事業	◎	継続	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	判定
廃棄物処理法	一般廃棄物・産業廃棄物	○
騒音・振動規制法	空圧機、送風機	○
フロン排出抑制法	業務用空調機、冷凍機	○
消防法	危険物の保管、消防計画の実施	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

口代表者による全体の評価と見直し

エコアクション21認証登録から7年を経過しました。

主な環境負荷の前年比実績としては、二酸化炭素総排出量95.6%・廃棄物排出量114.5%・総排水量99.7%でした。廃棄物排出量が顕著に増加してしまいましたが、宿泊のお客様が館外で消費活動された物品が館内に持ち込まれ廃棄されたものですので、中々削減に向けては難しい課題だと感じております。

また、大阪シティホテル京橋店舗では重油からガスへの熱源変更改修に続き、(社)低酸素エネルギー技術事業組合によるCO2ポテンシャル診断(二酸化炭素抑制対策事業費補助金)を利用し積極的に二酸化炭素抑制におけるエアコン機器の更新を行いました。今後もこう言った事業を活用しながら取り組みを進めて参ります。

これからも経営と環境のバランスを考慮しての組織運営・経営資源の投資を行ってまいります。

口環境活動の紹介

1 水田オーナーズクラブへ加盟

環境保全の一環として、日本の農業を守り・持続可能な日本社会に貢献することを目的とし、水田オーナーズクラブへ加盟・契約致しております。

自然豊かな鳥取県の山間部にグラッドシステムズ農園を設立し、地元の農家の方と向き合い、一緒にお米を栽培することで高齢化が進み、多くの問題を抱える日本の農業を守ることに貢献したいと考えております。

農業を通じて、都市の企業の生産地が、持続可能な地球環境保護に賛同し、環境意識を高め、2050年の低炭素社会の実現を目指しております。

水田面積 31.1アール

CO2削減量3,110kg

品種 こしひかり

栽培形態 鳥取県認証 特別栽培 海藻有機肥料

水田場所 鳥取県日野郡



2 太陽光発電事業部の立ち上げ

社会貢献の一環として、再生可能エネルギーを創電致します。消費するだけでなく、再生可能エネルギーを発電し、地球環境に優しい太陽光発電事業を取り組むことで社会環境を考えて参ります。

太陽光発電事業部6施設(兵庫県三田市・宮崎県宮崎市・奈良県天理市・徳島県阿波市・奈良県生駒市・京都府京丹波町)

京都府京丹波町(平成28年3月)
発電設置容量: 76.5KW



宮崎県宮崎市(平成26年7月)
発電設置容量: 45KW



3 清掃不要ご案内活動

当社運営2ホテルでは、連泊のお客様へのご案内のひとつとして、清掃不要をご希望されたお客様に500mlのお水をプレゼントする活動を行っております。活動ホテル: ホテルグラッドワン南大阪・北九州第一ホテル

4 トイレトペーパーの使い切りのご協力を呼び掛けております。

ご宿泊頂いているお客様にも当社で取り組む活動の一環としてトイレトペーパーの使い切りに賛同頂けるようペーパーホルダーへご案内をし、協力して頂けるよう呼び掛けております。



5 ホテル従業員の防火対策意識

当社では、全社員へ防火管理責任者の資格取得を義務付けております。

これは、ホテルで安全にお客様が宿泊できるよう高い意識を持って防火対策へ取り組む為に行っております。

又、ホテルグラッドワン南大阪・北九州第一ホテル・ホテルグラッドワン京都七条・ホテルグラッドワン京都四条大宮では防火管理適合表示通知を受けており、標章表示を認められた施設です。